

2024年10月吉日

会員各位

第75回全国学術大会の自由論題・テーマ分科会募集のお知らせ

2025年日本現代中国学会全国学術大会は、5月31日（土）・6月1日（日）の両日に愛知大学名古屋キャンパス（名古屋市中村区）にて開催することとなりました。次ページ以下の応募要項の通り、会員の皆様から自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、今大会の共通論題は「アジアのなかの中国 分断のなかのアジア」です。いまから100年前の1925年、広東省広州でベトナム青年革命同志会が組織され、アジアの民族独立運動における中国の存在を象徴する動きとなりました。過去の100年間を大きな視野から振り返るとき、アジアと中国のつながりは確実に深化してきました。他方で、現在、深刻な米中対立を背景として、南シナ海や台湾の問題、あるいは中印国境での衝突など、アジアでは中国をめぐる分断状況が広がっています。本来はアジアをつなぐ機能も果たすはずの「一帯一路」についても、中国脅威論の文脈で論じられるケースが多くみられます。

そこで、2025年度の共通論題では、中国とアジアが互いに浸透し融合する一方で、分断が強化されている現状をあらためて確認し、過去をふまえながら、現在と未来についての討論を展開したいと思います。まず小笠原淳会員から、アジアにおける華語文学・表象文化の広がりについてご報告いただきます。つぎに、熊倉潤会員からは中央アジア諸国と中国との結びつきについて、青山瑠妙会員からはインドをはじめとする「グローバルサウス」の動向と中国について、ご報告をいただきます。最後に濱下武志会員から、中国とりわけ華南地域と東南アジアとのつながりについてご報告いただきます。さらに、巖善平会員と津守陽会員より、社会・人文科学にわたるコメントをお願いし、全体での議論へとつなげていきます。

応募要項

自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を以下のように募集します。事務的混乱を避けるために、やや煩瑣なご依頼事項を列挙しておりますことをご許してください。

①自由論題での報告（一人の報告時間は25分程度）をご希望の会員は、氏名・所属・報告テーマおよび要旨（800字程度）を下記⑩の連絡先までお送りください。なお、大学院生は指導教員、またはそれに相当する会員の推薦状（推薦者の氏名、所属、連絡先、推薦理由を記載。書式は自由）が必要です。また、報告者は会員でなければなりません（非会員の場合は下記⑤を参照）。

②テーマ分科会の開催（報告者2～3名、約2時間）をご希望の会員は、企画者（氏名と所属）、企画テーマ、討論者（氏名と所属）、司会者（氏名と所属）を確定したうえで、下記⑩の申込先までお送りください。分科会は原則として会員で構成するものとし、エントリー後のメンバーの変更はできません。確認のため、報告者、討論者、司会者が会員であるかどうかを明記してください。

③自由論題およびテーマ分科会の応募に関するご連絡は、すべて電子メールでお願いします。その場合、ウィルス感染防止のため、添付ファイルは使用せず、メール本文にテキストで記載してください。なお、推薦状も原則としてメールで作成し、応募者はそれを転送するかたち（メール本文にペースト）としてください。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

④締め切りは2025年1月31日（金）とします。

⑤自由論題等での報告を希望される学会非会員の方は、入会申請をしていただいたうえで（日本現代中国学会のウェブサイト <http://www.genchugakkai.com/nyukai.html> を参照）、ご応募ください。入会手続きが報告発表までに完了しない場合でも、応募済みであれば発表は可能です。

⑥大会参加の旅費および宿泊費等は自己負担となります。

⑦報告希望者、テーマ分科会開催希望が多数に上る場合は、内容や会員歴などをふまえて調整させていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

⑧応募をされた方には、メールにて実行委員会より応募受理の連絡をいたします。メールを送信した後、1週間以内に連絡がないときは、再度メールにてお問い合わせください。

⑨自由論題報告者は、大会10日前の2025年5月21日(水)までに報告原稿またはレジュメを実行委員会まで提出してください。なお、パワーポイント等の機器使用を希望される場合は申し込み時に必ず明記してください。

⑩応募申込先は、以下の実行委員会メールアドレスです。genchu2025@gmail.com

⑪応募のメール送信をする際、件名を以下のようにしてください。

- *自由論題への応募の場合は「自由論題」
- *テーマ分科会応募の場合は「テーマ分科会」

この機会に当学会未加入の優秀な大学院生の皆様にも、ぜひ入会と報告発表をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

日本現代中国学会第75回全国学術大会
実行委員会事務局(加治宏基)